

	1	2	3	4
項目	学習指導について (教務部・研修部)	生徒指導について (生徒指導部・保健部)	進路指導について (進路指導部)	生徒支援・生徒理解について (教育相談部・支援委員会)
小項目	<p>① 生徒の実態を踏まえつつ、質的に充実した三修制のカリキュラムを構築する。</p> <p>② 各分掌と連携し、機能的、合理的なシステムを構築する。</p> <p>③ 生徒の理解度や授業の状況を分析し、効果的な授業経営ができるよう対応する。</p> <p>④ 授業参観、授業研究会・研究授業、校内研修会等を実施する。</p>	<p>① 生徒会と連携しながら「定時の絆（いじめ防止のための心構え）」を策定し、生徒自身の「いじめ」をなくす意識を高めていく。また、現状に即した「定時の心得」の見直しを図る。</p> <p>② 生徒会と連携しながら通学時の事故防止や変質者被害の防止、災害時の対応を含めたハザードマップや事故時の対応カードの作成をする。</p> <p>③ 基本的な生活習慣の確立を促す</p>	<p>① 進路目標を具体化させ、実現に向けて個々の生徒に合わせた支援を行う。</p> <p>② キャリア教育年間計画を策定し、計画的に進路指導を行う。</p> <p>③ 保護者やジョブサポーターと情報を共有し、協力して進路指導を行う。</p> <p>④ 職場定着支援員やハローワークと連携を図り、進路に関する情報を整理して提供し、指導する。</p>	<p>① 構成的グループエンカウンター（SGE）、SSTの活用</p> <p>② 教育相談週間の事前記入資料の検討</p> <p>③ SENチェックリスト、Q-U等の導入を検討</p> <p>④ 生徒理解に関する職員研修会を実施</p> <p>⑤ 支援学校のワックス作業への参加、学校祭への参加を継続</p> <p>⑥ 事例検討等の研修の実施→チーム支援の蓄積</p>
実施状況・達成状況	<p>①、②3卒生、4卒生、編入生などそれぞれのニーズに応じた教育課程を編成した。本校生徒の実態に寄り添った教務内規の改定を行うことができた。出欠管理をきめ細かく行い、HR担任と連携し、生徒の出席を促すことに活用した。</p> <p>③年度途中で標準、基礎クラスの見直しを行い、より理解度に応じた授業実践を促した。</p> <p>④ 4月と11月に授業参観週間を設定し、延べ17名の先生方が互いに参観し合い、授業改善を図った。また、11月に生徒理解の観点からについて校内研修会を行った。さらに授業改善につながる話題提供として研修便りを発行した。</p>	<p>① スマートフォンの取り扱いに関わるルールを軽視したり、SNSの利用に関わった大きなトラブルにつながるようないざござはないわけではない。また、複雑な家庭事情などの影響を受けて粗暴な振る舞いをしたり暴言を吐くような様子もみられた。多様な特徴を有する生徒たちを支援するという基本的な考え方をもとに注意深く観察しながら指導したい。</p> <p>② 内規やハザードマップ、事故対応カードの作成については、全日制課程や他校の情報を収集している。早急に着手したい。</p> <p>③ ライフスタイル調査をもとに、生活習慣に関する個別の保健指導を実施した。</p>	<p>① 全員が就職を希望し、卒業までには全員が内定を得ることができた。</p> <p>② 全学年で進路・キャリアに関連した指導を行い、将来への意識を高めた。</p> <p>③ 家庭・ハローワークと連携しながら進路指導を行った。</p> <p>④ 様々な情報を整理しながら提供したが、年々、各部署からの情報提供や進路関係の催しが増加しており、取捨選択の必要がある。</p>	<p>① SGE・SSTを数回行ったが、計画的・継続的な実施には至らなかった。</p> <p>② 支援委員会と生徒理解の研修等を実施し、事例検討などを通して生徒理解を図った。また、職員会議で特別支援教育に関する研修会の報告を行い、全職員で共有した。</p> <p>③ SENチェックリストを活用し、個別の指導計画を3名分作成し、教育専門監の指導を受けて修正し、生徒の実態に合った目標となった。</p> <p>④ Q-Uの導入の検討に至らず、来年度への引継ぎ事項とする。</p> <p>⑤ ゆり支援学校とのワックスがけ、学校祭での交流を継続できた。参加した生徒たちはコミュニケーション等の経験の場となった。交流を自己理解、他者理解の機会にするため、事前・事後指導を充実させたい。</p> <p>⑥ 事例検討会は教育専門監や障害者生活・就業支援相談員にも参加していただき、生徒のよりよい支援だけでなく職員の学びにもつながっている。</p>
評価	B	B	B	A
次年度への提言	<p>① 新しい三修制の定着を図る。</p> <p>② 日々の出欠管理から年度末の単位認定まで成績処理をより効率的に行う。</p> <p>③ スムーズな授業経営ができるように教務の立場からサポートする。</p> <p>④ 次年度も、校内研修や授業改善に向けた取組を継続する。</p>	<p>① 「定時の心得」の充実と自己管理・自己責任の意識の醸成を図る。</p> <p>② いじめ、ネットトラブル、不適切交遊等問題行動の未然防止と交通事故や不審者被害などの未然防止に向けた安全指導の充実を図る。</p> <p>③ 継続的な保健指導の実施（個別・集団）し、基本的な生活習慣の確立を促す。</p>	<p>① 卒業生の進路希望の実現</p> <p>② 3～4年間を通じた計画的なキャリア教育の推進</p> <p>③ 家庭や関係機関と連携した効果的な進路指導</p> <p>④ 進路情報の整理と進路関係行事の精選</p>	<p>保護者との関係づくりのため、保護者面談週間を設定する。</p> <p>・時期は1回目を夏季休業前、2回目を後期教育相談週間後</p> <p>・基本的に全員の保護者と面談する</p> <p>・担任の先生に限らず、副担任、部活動顧問、養護教諭等も面談</p>

	1	2	3	4
項目	学習指導について (教務部・研修部)	生徒指導について (生徒指導部・保健部)	進路指導について (進路指導部)	生徒支援・生徒理解について (教育相談部・支援委員会)
学校関係者 の ご 感 想 及 び ご 提 言 等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は控えめですがどこが足りないのか不明です。自信を持って「A」と自己評価してもよいと感じました。 ・全日制とは異なり、各生徒にあった学習指導になるかと思われま。いかに授業に関心を持って授業ができるかが重要な気が致します。各生徒の性格等も含め、先生方の情報共有をもとに頑張っていたきたいと思致します。 ・定時制課程と接点があるのは入学式と卒業式ぐらいで、実際の様子は拝見してありませんが、学校が取り組まれている計画が達成され、より質の高い学習指導がなされることを期待します。 ・生徒の理解度や学力に差があることが伝わった。対策としての標準、基礎クラスによる授業、さらにTTによる支援は大変役に立っていると評価いたします。 ・3年でも卒業できる点をもっと生徒保護者、中学校の各関係との連携を密にして意識改革に取り組んで欲しいです。年々減少している入学者の増員につながればと思います。全日制、定時制も本高卒業生の自覚から一考を要するのではないかと思います。 ・できれば三年で卒業することが望ましいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は妥当です。 ・生徒には様々な不安を抱えている方もいるかもしれません。夜だけの学校ですので先生方とのコミュニケーションは難しいとは思いますが、卒業後には社会で適応するような人材に指導していただきたいと思っています。 ・卒業式を見る限りですが生徒の皆さんはしっかりと教育指導を受けられているように思いますが、もっと若者らしく元気ではつらつとした姿を見たいと思います。 ・「定時制の心得」を基に自己管理、自己責任の意識改革を目指すことは分かり易く評価できる取組と考えます。生徒の生活態度や整容の乱れ等問題行為は何らかのストレスに対する防衛機制と思われる。 ・卒業式での生徒の立派な姿を拝見し、指導が行き届いていると感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は妥当です。本項目は、KPIの策定が比較的容易と思われま。そのような指標によるCheck、Actionの設定が好ましいと考えま。 ・昨今の求人では売り手市場と聞いております。生徒が希望の職業に決まるよう、家庭、ハローワークと連携しながらの進路指導をお願いします。 ・今年度の進路結果は聞いておりませんが、働き手の減少、企業の人手不足は明らかであり、より正確に実情を見極め幅広く、そして深い情報を集めて、適切な指導をお願いしたいと思致します。 ・全員の就職内定、喜ばしく思致します。仕事の意義を在学中に学び、一市民として仕事をして生活できることは立派なことで伝えてください。定時制がそのための準備期間にあることを生徒にも意識して欲しいと思致します。 ・全員就職内定に心よりお祝いを申し上げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は妥当です。 ・生徒間の心を開かせるためにも思っていることを討論することは必要です。外部での授業や外部講師を招いた授業など様々な方法で指導を行ってもらいたいと思っています。 ・学校評価（自己評価）を拝見するに、しっかりと計画を立てられているようですので、その実現に向けてさらなる努力をお願いしたいと思致します。 ・各学年での取組、それぞれとてもしっかりしていると感じました。複数の教員による面談は利点が多いことも理解できました。保健室利用の背景に生徒のストレスが関与しているので、ストレスの内容を分析することも生徒理解の一助になりそうと考えま。70周年式典への生徒の協力は外部的には微笑ましい光景であり、よいと思致します。 ・全員の保護者と面談することがとても大切で、大変と思致しますが継続して欲しいと願致します。すべてにおいて先生方のご努力に感謝したいと思致します。
評価	A	B	B	B

《 ABC評価 》 A：具体的な活動がなされ、目標を達成できた。
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。
 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。